

# 令和元年台風19号義援金の贈呈

令和2年1月15日、（一社）全国測量設計業協会連合会北陸地区協議会（会長：山岸陽一）は、新潟県に台風19号義援金として50万円を贈呈しました。

全国測量設計業協会連合会では、台風19号の被害が大きい県の測量設計業協会（通称「県測協」という。）を支援するため全国の県測協から支援金を募り、東北、関東、北陸、中部の各地区協議会に支援金を交付しました。

北陸地区協議会には50万円が交付され、構成員である新潟、富山、石川の各県測協で協議し、災害救助法の適用を受けた新潟県に被災者の皆様の一日も早い復興を願って「義援金」として全額贈呈することとしました。

この日、新潟県庁で行われた贈呈式では、山岸会長から本間由美子出納局長に「被災者の皆様の復興に、是非とも、お役立てください。」と目録を贈呈し、本間出納局長からは「心温まる義援金は被災者の皆様にとって大きな励ましとなります。この義援金は、被災した地域の皆様にお届けし、生活再建に役立てていただきます。県としても一刻も早い復旧・復興に総力を挙げて取り組んでおり、今後とも、地区協議会の皆様のご理解・ご支援をお願いいたします。」と感謝のお言葉をいただきました。



目録を手にする山岸会長（左）と本間出納局長